

# 2004年6月期 中間決算説明会

2004年3月3日  
株式会社 構造計画研究所

# 目次

中間決算の概要	1	バランスシート項目の変化	11
セグメントの状況	2	キャッシュ・フロー計算書	12
セグメント別売上高の推移	3	フリー・キャッシュ・フローの推移	13
セグメント別原価の算出根拠	4	経営成績の季節的変動について	14
セグメント利益の状況	5	セグメント別受注残の状況	15
ソフトウェア開発	6	期末業績予想	16
エンジニアリングコンサルティング	7	業績達成のための施策	17
パッケージソフト	8	当社の特長	18
比較損益計算書	9	主なニュースリリース	19
比較貸借対照表	10		

# 中間決算の概要

(単位:百万円)

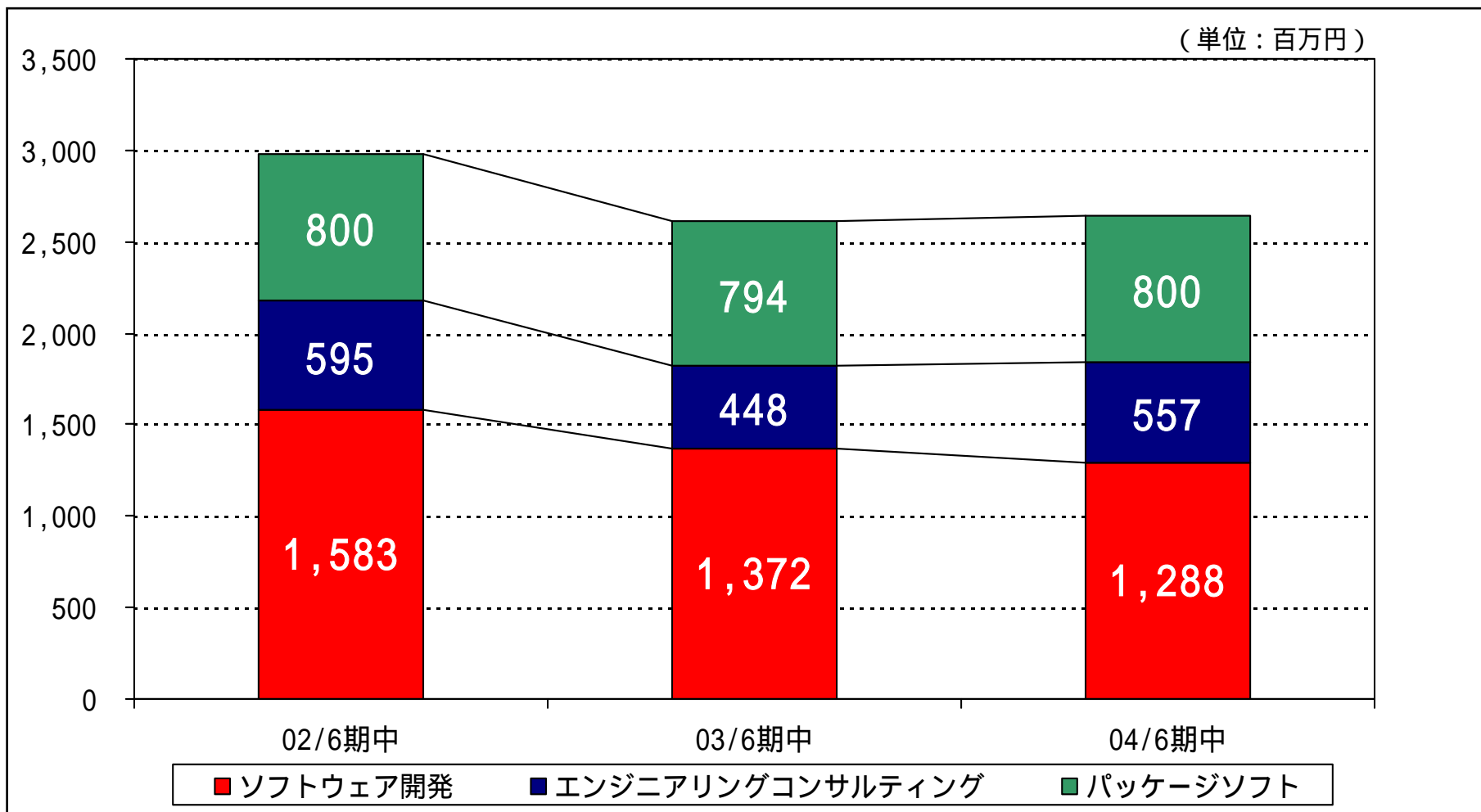
	計画	実績	前年	対計画増減	対前年増減
売上高	2,700	2,647	2,615	52 ( 2.0%)	31 (1.2%)
営業利益	900	883	979	16 ( )	95 ( )
経常利益	960	934	1,023	25 ( )	89 ( )
純利益	600	590	623	9 ( )	32 ( )

# セグメントの状況

(単位:百万円)

セグメント	事業内容	売上構成		
		02/6中	03/6中	04/6中
ソフトウェア開発	<ul style="list-style-type: none"> <li>❖ 移動通信・モバイル・ネットワーク通信</li> <li>❖ マルチメディア</li> <li>❖ 建設系ソフトウェア</li> <li>❖ 製造業向け営業・設計支援システム</li> </ul>	1,583 (53%)	1,372 (53%)	1,288 (49%)
エンジニアリング コンサルティング	<ul style="list-style-type: none"> <li>❖ 防災・耐震・数値解析</li> <li>❖ 建築構造設計</li> <li>❖ マーケティング・意思決定支援コンサル</li> <li>❖ 製造・物流系ソリューション</li> </ul>	595 (20%)	448 (17%)	557 (21%)
パッケージソフト	<ul style="list-style-type: none"> <li>❖ 設計者向けCAEソフト</li> <li>❖ 建築・土木CADパッケージソフト</li> <li>❖ 構造解析・耐震検討パッケージソフト</li> <li>❖ マーケティングリサーチ支援ソフト</li> <li>❖ 意思決定支援ソフト</li> </ul>	800 (27%)	794 (30%)	800 (30%)
合 計		2,980	2,615	2,647

# セグメント別売上高の推移



# セグメント別原価の算出根拠

		ソフトウェア開発	エンジニアリング コンサルティング	パッケージソフト
原 価	仕入・ロイヤルティ	×	×	
	労務費			×
	外注費			×
	その他経費			×
<b>売上総利益率</b> (03/6期中 04/6期中)		22% 15%	0% 5%	24% 30%
販 売 費	営業ユニット経費			
	パッケージ営業経費	×	×	
<b>セグメント利益率</b> (03/6期中 04/6期中)		7% 1%	25% 11%	17% 6%

# セグメント利益の状況 (2004年6月期中間)

(単位:百万円)

区分	ソフトウェア開発	エンジニアリング コンサルティング	パッケージソフト	合計
売上高	1,288	557	800	2,647
売上原価	1,082	527	553	2,163
<b>売上総利益</b>	<b>206</b>	<b>29</b>	<b>247</b>	<b>483</b>
販売費 (注1)	219	93	298	612
<b>セグメント利益 (注2)</b>	<b>13</b>	<b>63</b>	<b>51</b>	<b>128</b>
一般管理費				754
<b>営業利益</b>				<b>883</b>

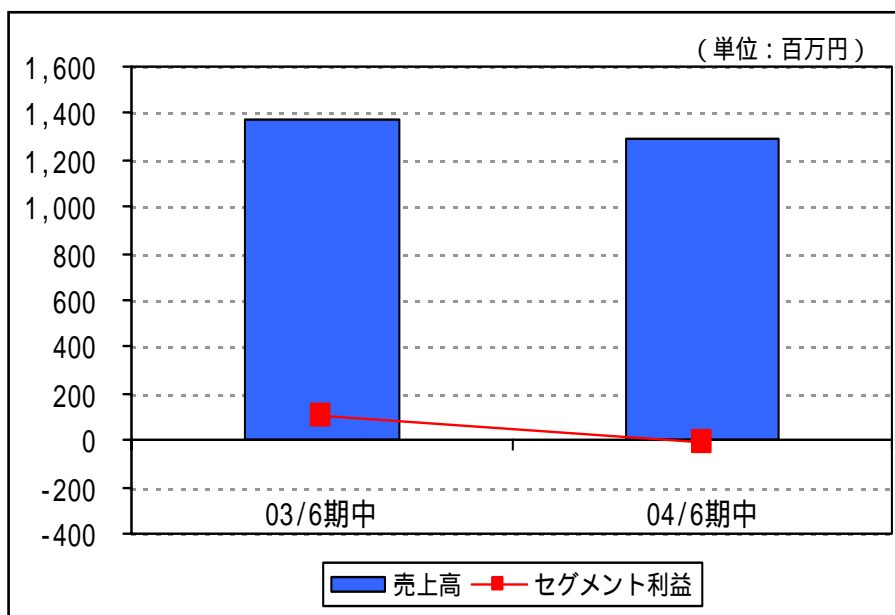
(注1) 販売費は受注高の比率で、各セグメントに配賦しております。

(注2) セグメント利益は弊社独自の管理指標であり、売上高から売上原価、販売費を差引いた値です。

# ソフトウェア開発

(単位:百万円)

	03/6期中	04/6期中	差額
売上高	1,372	1,288	84
売上原価	1,061	1,082	20
売上総利益	311	206	104
販売費	208	219	11
セグメント利益	102	13	116



## 売上高

- 情報通信業界、住宅設備メーカーでのIT構築ニーズが堅調に推移し、受注は拡大しております。
- ただし、製造業向け生産管理支援ビジネス案件の納期が下期にずれ込んだこと、住宅メーカーの法規改正関連のIT投資が一巡したことから、上半期の売上高は前年より減少。

## セグメント利益

- 上半期は開発部門による営業活動も活発に行われ、プロモーション活動等の営業費が増加。結果として利益を圧迫。



# エンジニアリングコンサルティング

(単位:百万円)

	03/6期中	04/6期中	差額
売上高	448	557	109
売上原価	450	527	77
売上総利益	1	29	31
販売費	111	93	17
セグメント利益	112	63	49

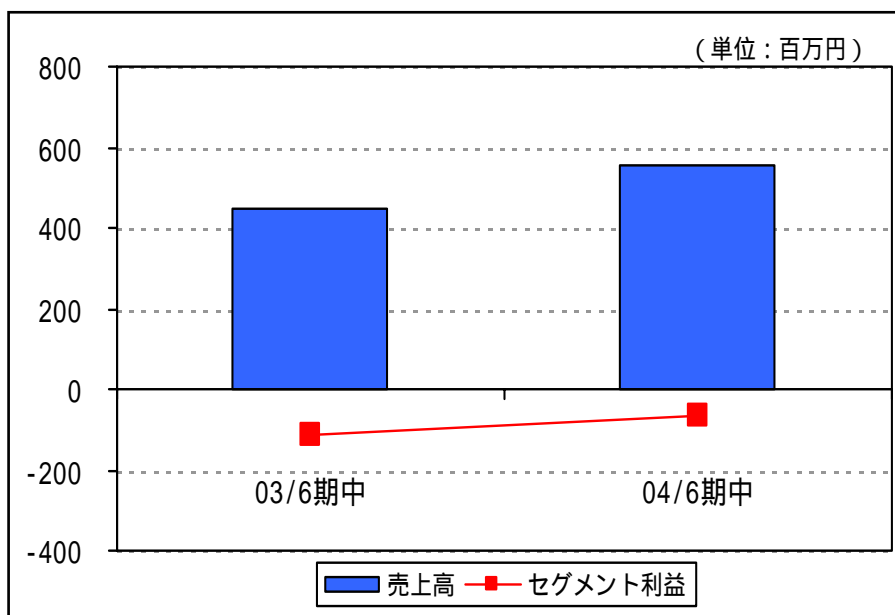
## 売上高

- 大規模地震が予測される中、免震・制震技術への関心が高まり、既存建築構造物の安全性検討業務および耐震補強設計等の業務が拡大し、売上高は前年に比べ増加。

## セグメント利益

- 売上高の伸びに伴い、赤字幅が縮小。

(単位:百万円)



# パッケージソフト

(単位:百万円)

	03/6期中	04/6期中	差額
売上高	794	800	6
売上原価	600	553	46
売上総利益	194	247	53
販売費	336	298	37
セグメント利益	142	51	90

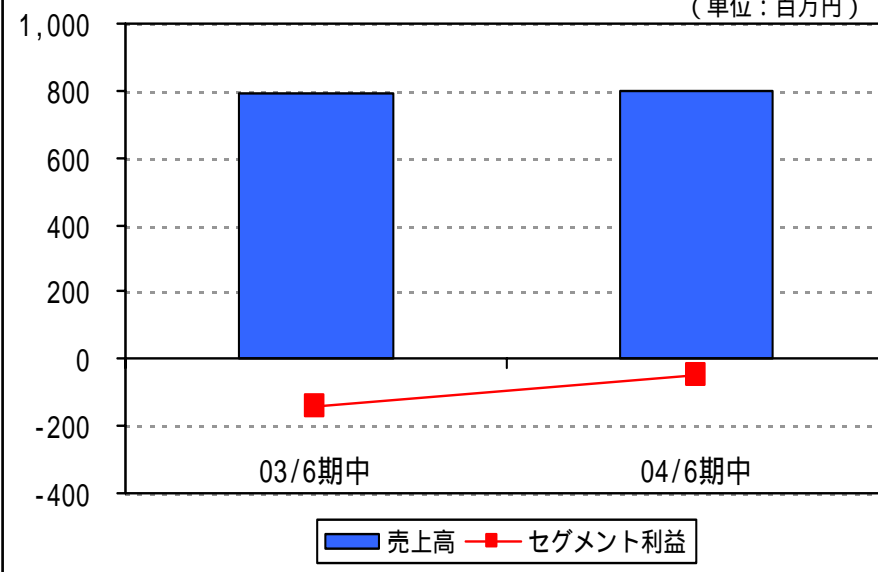
## 売上高

- 前年に引き続き製造業向け設計者支援CAEソフトの販売は順調に推移。
- 国土交通省が推進する建設CALS構想が徐々に具体化し、CALS対応土木CADが比較的好調に推移。

## セグメント利益

- 営業活動の合理化や諸経費の削減により、赤字幅は縮小。

(単位:百万円)



# 比較損益計算書

(単位:百万円)

	03/6期中	04/6期中	増減額	増減率
売上高	2,615	2,647	31	1.2%
売上原価	2,112	2,163	51	2.4%
売上総利益	503	483	20	4.0%
販売管理費	1,482	1,366	116	7.8%
営業利益	979	883	95	

## ➤ 売上原価

- ・外注費管理の徹底  
前年の中間実績に比べ、  
139百万円の減少。  
外注費比率も22% 16%  
となり、6ポイント改善。

- ・仕入・ロイヤルティ  
仕入商品の販売ウェイト  
の増加により、仕入費は  
若干増加。

## ➤ 販売管理費

- ・諸経費の削減により、  
前年と比較し116百万円  
の減少。

## 主な製造総経費

外注費	566	427	139	24.6%
人件費	1,334	1,344	10	0.8%
仕入・ロイヤルティ	328	386	58	17.7%

# 比較貸借対照表

(単位:百万円)

	03/6期中	04/6期中	増減額
流動資産	3,997	4,518	521
現金・預金	606	1,078	471
売上債権	1,080	1,095	15
固定資産	6,993	6,744	249
資産合計	10,990	11,262	271
流動負債(注1)	4,051	4,422	371
短期借入金	3,085	3,305	220
固定負債	4,415	4,352	63
長期借入金	3,786	3,781	5
負債合計	8,466	8,774	308
資本合計	2,523	2,487	36
負債・資本合計	10,990	11,262	271

(注1)「一年以内に返済予定の長期借入金」は短期借入金に含めて計算しております。

# バランスシート項目の変化

## ➤ 資産の部の変化

(増加要因)

現預金の増加

(減少要因)

投資有価証券の売却

保険積立金の解約

福利厚生施設会員権の売却

IPA出資金(50百万円を特別損失処理)

## ➤ 負債の部の変化

短期借入金の増加

## ➤ 資本の部

自己株式の所有による自己資本の減少 55百万円

# キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	03/6期中	03/6期末	04/6期中
期首残高	202	202	405
営業活動CF	698	663	830
投資活動CF	63	299	66
財務活動CF	1,166	161	1,437
期末残高	606	405	1,078

## ➤ 営業活動によるCF

- ・ 税引前中間純損失 1,000百万円
- ・ たな卸資産の増加 608百万円
- ・ 法人税等の支払額 155百万円
- ・ 売上債権の減少 969百万円

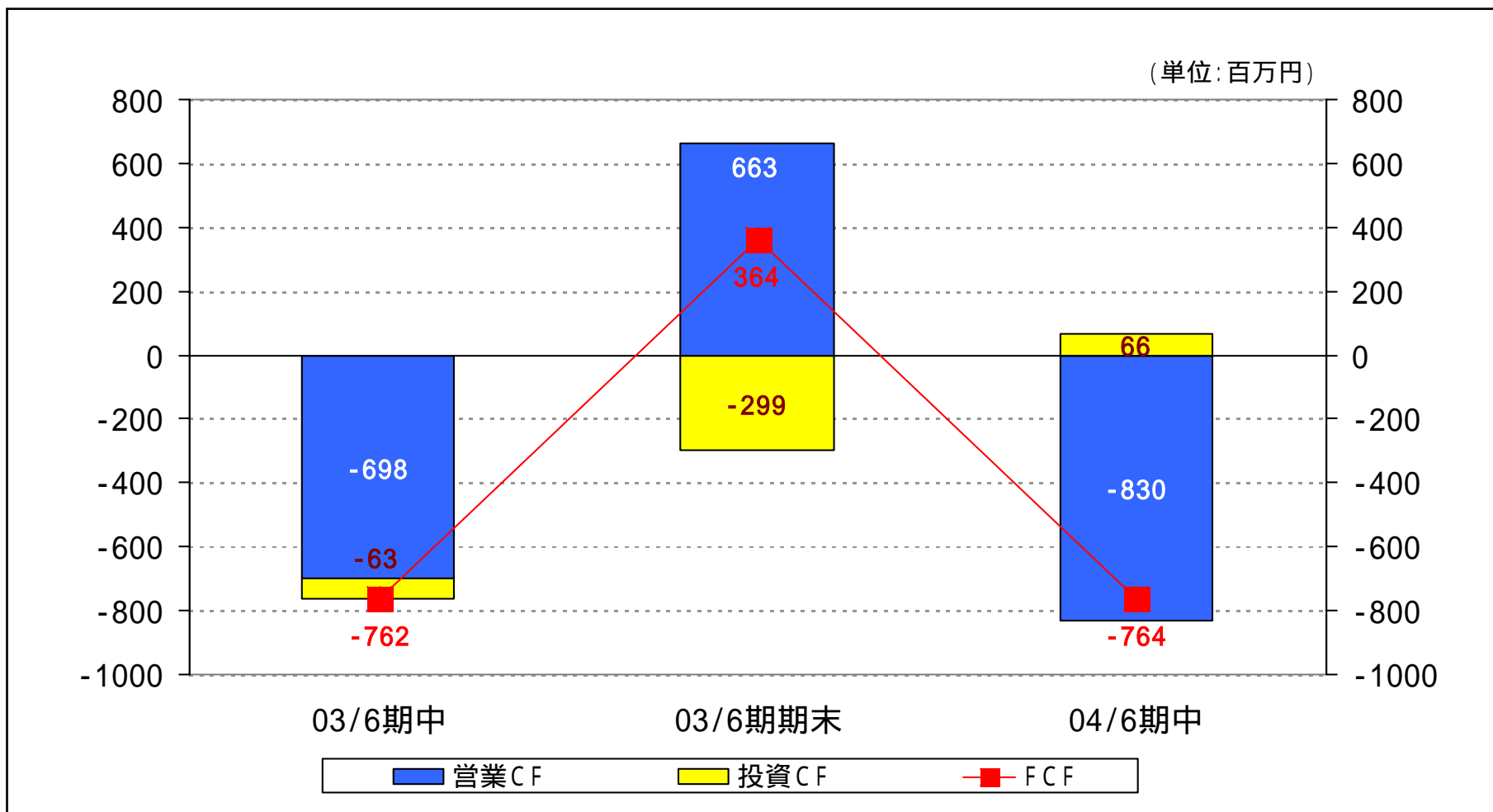
## ➤ 投資活動によるCF

- ・ 保険積立金の解約 67百万円
- ・ 投資有価証券の売却 52百万円
- ・ 会員権の解約 32百万円
- ・ 有・無形固定資産 97百万円

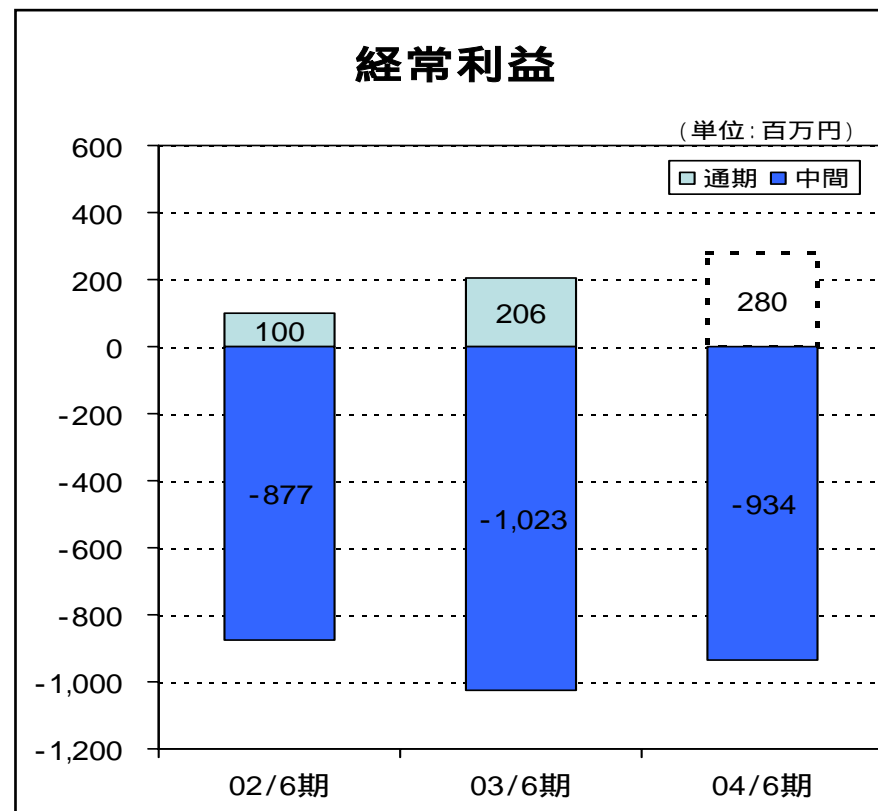
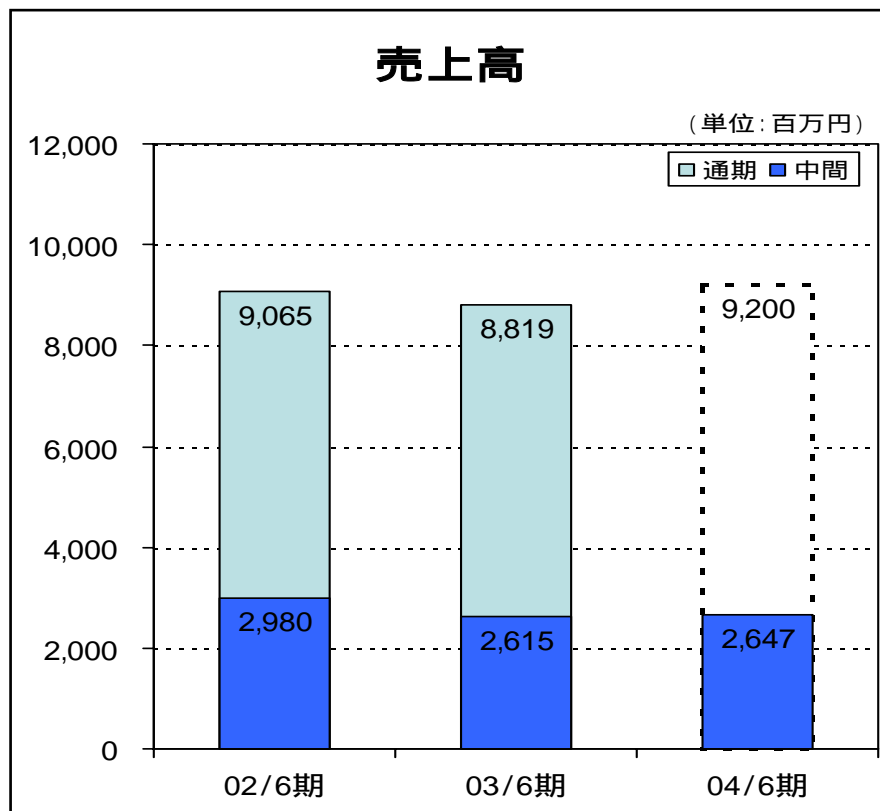
## ➤ 財務活動によるCF

- ・ 配当金支払 59百万円
- ・ 短期借入金の純増加 800百万円
- ・ 長期借入金による収入 697百万円

# フリー・キャッシュ・フローの推移



# 経営成績の季節的変動について



- ⇒ 成果品の引渡しが3月前後に増加する傾向にあることから、売上高および経常利益は、上半期に比較して下半期の割合が高くなる傾向にあります。



# セグメント別受注残の状況

(単位:百万円)

	03/6期中	04/6期中	増減	増減率
ソフトウェア開発	2,311	2,613	301	13.1%
エンジニアリング コンサルティング	1,397	1,456	58	4.2%
パッケージソフト	292	379	86	29.7%
合計	4,002	4,449	447	7.1%

# 期末業績予想

(単位:百万円)

	03/6期実績	04/6期計画	増減	増減率
<b>売上高</b>	8,819	9,200	380	4.3%
ソフトウェア開発	5,002	5,100	97	2.0%
エンジニアリング コンサルティング	1,701	1,900	198	11.7%
パッケージソフト	2,115	2,200	84	4.0%
<b>営業利益</b>	302	410	107	35.8%
<b>経常利益</b>	206	280	73	35.9%
<b>当期純利益</b>	21	80	58	281.0%

## 業績達成のための施策

- ☑効果の出始めた営業強化策を継続
- ☑業務の短工期化、高度化による開発リスクの増大に対処するため、コスト管理、品質管理を今まで以上に徹底
- ☑社内の連携強化による繁忙案件の作業平準化

- **独立系ITサービス企業**
  - ・ 人工積上げではない付加価値提供ビジネス
  - ・ 「組織知」を活かした経営
- **3つの業態を顧客ニーズに合わせて提供**
- **長期的視点に基づく投資型ビジネス**

# 主なニュースリリース

## (商品・サービス関連)

- 2004.02.23 設計者向けの熱流体解析ソフトウェア「EFD.V5」販売開始のお知らせ
- 2004.01.16 構造計画研究所と日本技術開発 道路橋交通振動シミュレーションで技術提携
- 2004.01.05 橋梁の耐震解析と支承設計を一貫で行なうプログラム「NAVI design-K」の新バージョンを販売開始
- 2003.11.14 RobotWorks3.20出荷開始のお知らせ
- 2003.11.04 XTNDConnect ServerがPocketPC 2003に対応
- 2003.09.09 環境にやさしい軽量化緑化基盤「グリーンシステム・レン」の発売を開始

## (書籍関連)

- 2003.12.01 新刊「ソフトウェア開発のカオス」12/20発売